

2023年7月27日

各 位

会社名 株式会社 エアトリ
代表者名 代表取締役社長 兼 CFO 柴田 裕 亮
(コード番号: 6191 東証プライム)
問合せ先 代表取締役社長 兼 CFO 柴田 裕 亮
(TEL. 03-3431-6191)

子会社（株式会社インバウンドプラットフォーム）の上場承認に関するお知らせ

本日、株式会社東京証券取引所より当社の子会社である株式会社インバウンドプラットフォーム（以下インバウンドプラットフォーム）の東京証券取引所グロース市場への新規上場が承認されましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. インバウンドプラットフォームの上場について

(1) インバウンドプラットフォームの当社グループにおける位置づけ

当社グループは、ITの力で、「エアトリ旅行事業」、「ITオフショア開発事業」、「訪日旅行事業・Wi-Fiレンタル事業」、「メディア事業」、「投資事業（エアトリ CVC）」、「地方創生事業」、「クラウド事業」の事業展開を行っております。インバウンドプラットフォームは、「訪日旅行事業・Wi-Fiレンタル事業」を展開する一子会社と位置づけており、収益子会社として、連結業績への貢献を期待しております。

(2) 上場の目的

インバウンドプラットフォームは、エアトリグループ内で訪日外国人向けのサービスを提供する複数の事業会社をまとめる形で親会社から独立しました。日本に来られる外国人に対するサービスプラットフォームを構築するために、独立した企業として、株式上場を行うことが最短の道であると考え、株式上場を決意いたしました。本上場を通じて、大きく企業の知名度、信用度を引き上げ、資金調達や人材獲得、取引先の獲得が加速度的に進むことを期待しております。

(3) インバウンドプラットフォームの上場後の株式保有方針について

当社及び当社グループ企業としてのシナジーを総合的に勘案し、当面の間、子会社となる株式保有割合を維持していく予定です。

2. 当社のグループ会社上場に対する考え方

エアトリ旅行事業については、創業来の事業として自社にノウハウが培われているのに加え、M&Aや積極的な広告戦略等により、着実に「エアトリ」の利用者が増加していることから、今後の方針として、当該事業を当社グループの中心的な事業と位置づけ、今後も積極的にリソ

ースを投下し、旅行業界での更なるシェアアップを推進することに致しました。一方で、このエアトリ旅行事業への関与が薄いグループ会社については、株式公開を選択肢の一つとして今後の対応方針を検討することにし、併せて株式公開を行う際に充たすべき事項を下記のとおり定めております。

当社グループに属する会社が上場を目指す場合は、グループ会社が単独で株式上場を果たすことにより、知名度や信用力の向上を通じ、当該グループ会社の成長が加速するメリットがある一方で、グループ会社の株式売却等により少数株主に帰属する利益が増加し、自社の将来的な連結ベースの利益が減少しグループの企業価値が毀損するという側面に特に留意し、下記の3点を充たすことが必要であるという考えに至っております。

- ①当該グループ会社の管理や営業等における人員が当社グループから完全に独立していること
- ②当該グループ会社の事業運営における当社グループへの依存度が低下していること
- ③当該グループ会社が株式上場することで当社グループおよび当該グループ会社の企業価値が向上すると判断できること（既存株主や少数株主の利益を損なうことが無いこと）

当社グループにおいて、現状、グループ会社上場の具体的な計画があるのは株式会社かんざしの1社ですが、将来において子会社上場を行う場合には、当社株主の権利を阻害する側面があることを十分に理解し、案件として発生の都度、既存株主や少数株主の利益を損なうことのないように配慮しながら意思決定を行って参ります。

以上